

牛川地区第9回作業部会

日時: 令和5年7月26日(水) 15:00~16:30

場所: 豊橋市役所 西館7階 第1会議室

参加者: 牛川地区代表者(豊川改修期成同盟会4名、
沖野水利組合3名)



(主なご意見)

- 毎年質疑を行っているが、回答が未消化のままになっているものがあるので、その説明をお願いしたい。
- 今年6月の出水では、土盛をしているところでも80cmくらいの浸水があった。これは、霞堤を乗り越えて豊川の流水が流れ込んだのか。その事実確認がないと、築堤により被害軽減される見込みというストーリーが成り立たないのでは。浸水要因等を明らかにしてほしい。
- 霞堤の浸水状況も記録として残し、対策に活かすべきではないか。霞堤を映すために、上下水道局の屋上や豊橋創造大学等の高い場所に監視カメラを設置し、沖野地区を安定的に撮影できる手立てはないか。

下条地区第9回作業部会

日時: 令和5年8月1日(月) 14:00~15:30

場所: 豊橋市役所 東館12階 東121会議室

参加者: 下条地区代表者(当該年度校区自治会長、
土地改良会長、神田川改修促進期成同盟会1名、
当該年度牛川北町自治会長)



(主なご意見)

- 今年6月の出水では浸水や越水による被害もあるが、実際には神田川から葦や流木等の流入が一番大きな被害と思っている。環状線を作るために開けているという話であったが、いつまで待てば良いのか。
- 地区外の人で回転灯の意味を分かっていない人がいるため、周知が必要である。冠水注意の看板も夜だと見えず、赤いランプは回っていても意味が分からないため進入してしまった車もあった。
- 住民に危機意識を持たせるために集会所の前などに回転灯を設置できないか。
- 出水後の対応を行ったが、それぞれ窓口がばらばらであり、被害が起きた時の対応が非常にしにくいと感じた。ワンストップの対応できるように工夫してほしい。

霞堤地区作業部会の開催報告

賀茂地区第9回作業部会

日時: 令和5年8月1日(月) 10:00~11:30

場所: 豊橋市役所 東館12階 東121会議室

参加者: 賀茂地区代表者(当該年度校区自治会長、
豊川改修期成同盟会2名、校区豊川堤防締切対策委員長)



(主なご意見)

- 今年6月の出水は、放水路ができてから最大だと思う。回転灯が回っていないものや水位が下がっても回転し続けるものがあった。
- 内水の排水について、当初から排水機場やポンプはつけないと言われていたが排水機場の検討は必要である。
- ダムの放流情報について、データをもらえれば被害を最小限に食い止められると思うため、早く情報が欲しい。

三上地区第9回作業部会

日時: 令和5年7月28日(水) 19:00~20:30

場所: 三上地区市民館

参加者: 三上地区代表者(自治会9名、
三上地区樋門担当者2名)



(主なご意見)

- 災害復旧について、来年5月までに完了する目途は確実に立っているのか。
- 災害復旧による通行止めはずっと続けていかないといけないのか。また、今後台風シーズンとなるが、その応急処置で大丈夫か。

霞堤地区作業部会の開催報告

金沢地区第9回作業部会

日時: 令和5年7月31日(木) 18:00~20:30

場所: 金沢地区構造改善センター

参加者: 金沢地区代表者(自治会3名、霞堤対策委員7名)



(主なご意見)

- (今年6月の出水で)通行止めの迂回ルートが示されているが、実際は冠水していて通れなくなっていた。
- 被災後の支援についても計画に盛り込んでほしい。
- 開口部に少しずつ小堤を設置していければ被害も減るのではないか。